



身延山大学国際日蓮学研究所

平成 29 年度第 1 回研究例会開催報告

< 学術交流 >

身延山大学国際日蓮学研究所では、その前身である身延山大学東洋文化研究所が毎年開催していた例会を「身延山大学国際日蓮学研究所 研究例会」として継承している。本年はその第 1 回として、6 月 28 日（水）10 時 20 分より身延山大学 310 教室にて韓国・高麗大蔵経研究所 南権熙先生（国立慶北大学校 教授）を講師に迎え「天台・法華章疏の刊行と流通」と題し、講演頂いた。



講演される南権熙先生（右）と同時通訳される崔鍾男先生

南先生は韓国における書誌学の大家であり、高麗大蔵経研究所においては書誌学部門の代表も務められている。今回の研究例会では、高麗時代における天台宗の成立と発展から天台教学の入門書である『天台四教儀』とその注釈書である『天台四教儀集解』研究を例として文字や書誌について講演された。韓国における仏教書誌学研究の展開を知る上で大変有意義な講演であることから、本年は当研究所員以外に学生の受講も許可され、学生にとって貴重な時間となった。

また研究例会に前後して、高麗大蔵経研究所は身延文庫（身延山久遠寺）調査並びに身延山大学図書館調査を行い、両研究機関では今後の両研究所の共同研究・学術交流について意見交換を行うべく、6 月 27 日（火）午後 6 時より玉川楼において学術交流協定にむけた話し合いが設けられた。

この場において後日、望月海慧研究所長・木村中一研究所主任が高麗大蔵経研究所へ赴き、協定書締結を行うことで一同了承した。

（意見交換会参加者）

崔 鍾男（中央僧伽大学校 教授）

南 権熙（慶北大学校 教授）

朴 鎔辰（能仁大学院大学校 教授）

崔 愛梨（高麗大蔵経研究所 専任研究員）

金 明洙（高麗大蔵経研究所 研究員）

朴 柄薫（同上） 以上、高麗大蔵経研究所参加者

望月海慧（身延山大学国際日蓮学研究所長）

池上要靖（身延山大学副学長）

木村中一（身延山大学国際日蓮学研究所主任）

以上、身延山大学国際日蓮学研究所参加者

（記録：木村中一）